

第 279 回（第 18 期第 8 回） 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録

日時： 2024 年 8 月 3 日（土） 16:00～18:00

場所： オンライン開催（Zoom）

出席者（敬称略）：

中嶋（会長），村田（副会長），柴田（会誌），小橋（事業・研究推進），
生方（財務・会計），武田（規程・選奨），川中（大会デザイン），畑（将来構想），
吉田（会員コミュニケーション），円谷（DE&I 推進），井上（財務・会計監事），
関（事業監事），森（総務）

欠席者（敬称略）：

井田（副会長）

【審議事項】

1. 第 278 回理事会の議事録の確認（資料 279-S1：森）

- ・ 前回理事会議事録の内容について確認を行い，承認された。

2. 第 35 回総会の議事録の確認（資料 279-S2：森）

- ・ 前回総会議事録の内容について確認を行い，承認された。

3. 東レ科学技術賞・科学技術研究助成推薦依頼について（資料 279-S3：森）

- ・ 東レ科学技術賞・科学技術研究助成推薦依頼が届いた。
- ・ 9 月 20 日までを締め切りとして，SOFT-ML に案内を流すこととなった。

4. クリエイティブ・コモンズ対応に伴う著作権規定と執筆要項の変更について（資料 279-S4：柴田）

- ・ 学会誌に対する CC ライセンス付与の対応に伴い，「投稿のご案内」と「著作権規定」について内容を変更する必要があるが生じた。
- ・ 文章の変更案を確認したうえで，変更案の通り変更することが承認された。

5. EBSCO へ本学会誌の転載（資料 279-S5：柴田）

- ・ 図書館や研究機関向けに学術情報サービスを提供している，EBSCO から本学会の学会誌「知能と情報」を EBSCO のデータベースに登録して良いかと問い合わせがあった。
- ・ 審議の結果，EBSCO のデータベースへの掲載を許可することとなった。

6. 編集委員会から事務業務に関する提案（資料 279-S6：柴田）

- ・ 事務局のメールアドレスを j-soft.org ドメインのアドレスに設定すれば，今後アドレスを変更する手間がなくなるのではないかとすることが編集委員会より提案された。ドメインの管理状況を確認したうえで，対応可能であれば今後対応を行うことが承認された。

- 学会誌について、発行から 2 年間は会員にのみ公開、2 年後から一般公開を行うという手続きで公開をしていたが、この手続きによって事務局業務が煩雑化している。学会誌を即時一般公開に変更することで事務局業務を簡略化できることが提案された。理事会での審議の結果、今後学会誌を即時一般公開に変更することが承認された。
 - AmazonKDP の発行作業について、アカウント等の情報が取得できれば編集員会で対応することが承認された。
 - 解説記事の原稿料など著者への支払いを毎号行っているの、これを年 2 回にまとめることで事務の作業手数料が減るか、事務局に確認を行うことになった。
7. 事務局業務の委託契約書について（資料 279-S7-1, 資料 279-S7-2：森）
- 事務局業務の委託契約書案について内容の確認を行った。
 - 学会表彰に関する業務、学会誌編集に係る業務については、理事会で引き取れる可能性があるため委託先と一度相談を行うこととなった。
 - 委託先業者と再度契約書案に関する確認を行ったうえで、契約の締結に向けて進めていくこととなった。
8. ファジィ関連外部資料の SOFT を通じた公開について（資料 279-S8-1：中嶋）
- ファジィ技術に関する教科書や資料などが手近に存在しないという課題が指摘されている一方で、ファジィ村塾をはじめとするファジィ技術に関する活動も行われていることが報告された。
 - 会員コミュニケーション・サービスの一環として、SOFT を通じてファジィ技術に関する活動の公開を積極的、継続的に実施していくことについて審議が行われた。
 - 審議の結果、会員コミュニケーション委員会を中心に本件の検討を進めることになった。
 - SOFT を通じた公開に当たって、内容の確認・承認をだれが実施するか今後検討する必要がある。
 - Facebook や X(旧 Twitter)の活用方法についても今後検討する。
9. 人工知能学会との連携について（資料 279-S9-1：中嶋）
- 人工知能学会の前会長と SOFT と人工知能学会との連携について議論が行われ、ロボット関連、基礎研究関連で連携の可能性があるのではないかという意見をいただいたことが報告された。
 - 人工知能学会との連携について、継続議論を将来構想委員会で実施していくことが承認された。
10. 2024 年度学会賞について（資料 279-S10：武田）
- 2024 年度の学会賞について、学会賞選考委員会を招集し、メール審議での議論が行われたことが報告された。
 - 功績賞については、本年度は「該当なし」となった。
 - 論文賞については、2 本の論文が選出された。
 - 奨励賞については、2 名がすでに第 274 回理事会にて承認されている。
 - 論文賞候補の 2 本の論文について、ともに論文賞を授与することが理事会にて承認された。
 - 表彰に係る事務局業務について、規定・選奨理事が業務を引き継いで担当することとなった。

11. ゆうちょ銀行での新事務局の口座開設書類等に関するご確認（資料 279-S11：生方）

- 新事務局での事務局業務の委託にあたり、新事務局で新規口座の開設ができないため、財務会計担当理事がゆうちょ銀行の口座を開設することで進めていることが報告された。
- 口座開設にかかる必要書類の記載内容について確認を行った。
 - 事務局が管理するための学会の銀行印を新規に作成する。

12. 事業委員会規定の確認（資料 279-S12：小橋）

- 事業委員会として副委員長を 2 名選任し、事業内容の分担に向けた準備を進めていることが報告され、事業委員会規定等の確認が行われた。
- 1991 年制定の規程を基に、選奨規定理事と相談をしたうえで、副委員長の選任について理事会に提案することとなった。

【報告事項】

1. 将来構想委員会報告（資料 279-H1：畑）

- 7 月 8 日に開催された将来構想委員会の報告が行われた。
 - 若手大型資金申請 PJ について、スケジュール予定、メンバー、申請内容、全体構想案、申請先の案について報告がされた。

2. DE&I 推進委員会報告（資料 279-H2：円谷）

- FSS2024 の企画セッションの進捗報告がされた。
 - 前半の枠で趣旨説明と研究発表 3 件（うち 2 件は一般セッションからの引き抜き）を行い、後半の枠で意識啓発に関する発表 3 件とパネルディスカッションを実施する。
- SCIS & ISIS2024 の企画セッションの進捗報告がされた。
 - abstract-only-paper の枠で 5 件の発表申し込みがある。

3. FSS2024 準備状況に関する報告（資料 279-H3-1、資料 279-H3-2、資料 279-H-3: 川中）

- FSS2024 の準備状況について報告が行われた。
 - 8 月 2 日時点での参加登録者数：279 件
 - 大会開催期間中に拡大事業委員会、編集委員会、理事会を開催予定
 - 論文投稿件数：201 件
 - 8 月 5 日に暫定版プログラムを公開予定
 - 9 月 1 日に予稿集の最終版を公開予定
 - 表彰式を 2 日目の 15:50～より開催予定

【その他】

1. 活動の報告について（中嶋）

- 会員への活動の告知に向けて、DE&I 推進委員会での企画セッションの実施や、将来構想委員会でのパネルディスカッションの実施などの活動報告を学会誌へ掲載してはどうかと中嶋会長より意見が

あった。

2. 次回理事会について

- 日時：2024 年 9 月 3 日（火）12:00～
- 場所：梶山女学園大学 会議室 B103

以上